

医療生協さいたまの病院

医療生協さいたま
マスコットキャラクター
ココロン



Health Promoting Hospitals & Health Services
Medical Co-op SAITAMA Cooperative

埼玉協同病院



川口市木曾呂 1317
0570-00-4771 (代)



ふれあい生協病院



川口市木曾呂 1302-1
0570-00-4771 (代)



埼玉西協同病院



所沢市中富 1865
0570-010-323 (代)



熊谷生協病院



熊谷市上之 3854
048-524-3841 (代)



秩父生協病院



秩父市阿保町 1-11
0494-23-1300 (代)



医療生協さいたま

〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1317
採用窓口：保健看護部看護課
TEL. 048-294-6111 (代)
✉ kangakusei@mcp-saitama.or.jp



看護力



医療生協さいたま

埼玉協同病院
ふれあい生協病院
埼玉西協同病院
熊谷生協病院
秩父生協病院



地域 とともに、産み・育み・看とる

いのちのはじまりから最期の瞬間まで、
健康のあらゆるステージにかかわり
その人らしい生き方を支えつづけたい。

子ども、お年寄り、働く人…
このまちで暮らす
すべての人たちの健康と生きる力を支えたい。



わたしたちの看護のフィールドは、
いのちを育みつづける「地域」です。
主人公は地域のひとびと。
「地域とともに、産み・育み・看とる」
それが、医療生協さいたまの
看護ポリシーです。

私たちの歩み

ルーツは今から70年以上も前の事「いつでもだれでも安心して医療が受けられるように」と願う医師や看護師、そして住民が協力し合い診療所が誕生しました。そして無償の訪問看護も始まったのです。「患者の立場に立つ」という創設者たちの心は、医療を受ける権利を等しく保障するため、個室料(差額ベッド代)をいただかない基本姿勢へと引き継がれ、今も息づいています。

医療福祉生協

地域の人々が、なにものにもかえがたい「いのちと健康」を守り、地域ぐるみで健康づくりをすすめる、消費生活協同組合法に基づく住民の自主的組織です。



HPH

Health Promoting Hospitals & Health Services

WHO(世界保健機構)が提唱するHPH (Health Promoting Hospitals & Health Services)とは 患者・職員・地域住民にヘルスプロモーションを実践し、ヘルスリテラシーを高める活動です。すべての事業所が国際HPHネットワーク・日本HPHネットワークに加盟しています。

職員へのヘルスプロモーション

職員が輝きつづけるための健康ニーズに働きかける

始業前の朝の体操やストレッチ、職員の禁煙の取り組み、腰痛予防(ノー・リフト)や、夜勤食(夕・朝)の提供など、健康で働きやすい環境づくりに取り組んでいます。



患者へのヘルスプロモーション



病気のその先にある健康ニーズに働きかける

病気がきっかけで病院や診療所にかかった患者に対し、禁煙のおすすめや、体力チェック&運動の紹介など、その先の人生がより健康につながるよう支援します。



地域へのヘルスプロモーション

地域まるごと健康。すべての人の健康ニーズに働きかける

まちかど健康相談、認知症・フレイル予防、いのちの授業など組合員と共に行うだけでなく、行政・企業・学校にも働きかけ地域まるごとの健康づくりを通して地域住民の健康づくりを支援しています。



助産師によるいのちの授業

職員・患者・地域住民へのヘルスプロモーションのアプローチを行い、その活動報告を毎年HPH国際カンファレンスで発表しています。



国際HPHカンファレンスに保健師が参加しています

多彩なフィールド キラッと看護☆

いのちと心の最前線に向き合う
スペシャリスト



ER

SDHの視点で関わる救急ケア

SDHとは健康の社会的決定要因をいいます。救急搬送された患者の中には、経済的理由により受診できず病状が悪化している方、誰にも相談できず苦しくてやっと病院にたどり着いた方など、社会的に様々な背景を抱えている方が多くいます。私たちは、多職種と連携し、SDHの視点で生活状況の把握、精神的支援もしながら救急看護を実践しています。



HCU

多職種連携で患者に寄り添うハイケア

意思疎通が困難と思える患者が多いHCUケアだからこそ、患者や家族の思いを大切にしています。人工呼吸器が付いていても、患者とコミュニケーションを繰り返し、患者と同じ目標に向かう、寄り添う看護を大事にしています。



OPE

不安な思いに寄り添う周手術期ケア

術前の麻酔科外来や術前訪問では手術に対する不安な思いを聴き取り、手術中は患者の負担を和らげるために、音楽やアロマを活用しています。また個別環境を整備し、夫立ち会い帝王切開の支援も行いながら、患者・家族の思いに耳を傾け、安心・安全・安楽な周手術期看護を提供しています。



地域包括 ケア病棟

急性期から在宅へ 切れ目のない看護



地域包括ケア病棟は、急性期治療からスムーズに受け入れる(ポストアキュート)機能と施設や在宅患者の悪化時即日を受け入れ、円滑に帰れるように支援する(サブアキュート)機能を持っています。またレスパイト、緩和ケア、看取りまで幅広く対応し、開業医や他施設、行政とも連携して地域で暮らす療養者をご家族を支えています。

老人保健 施設

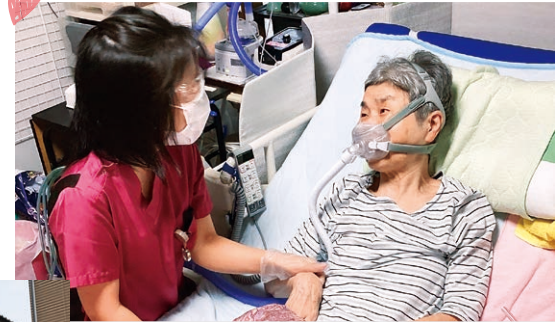
その人らしい 暮らしを支える

病気により障害が残った場合、退院後も住みなれた家で生活するためには、環境を整え、その人の生活を支えるための福祉サービスを利用することが必要です。私たちはそれらを利用者家族と共同で行うために、セラピストや医療ソーシャルワーカーなどと一緒に利用者宅を訪問し、調整を行うことでQOLを高め、本人の意思にそった在宅復帰を目指しています。



いのちと心に向き合う スペシャリスト

訪問看護



人工呼吸器を装着した利用者様も、訪問診療、訪問看護、定期巡回型訪問介護、訪問入浴などを利用しながら、ご自宅で生活されています。多職種で定期的カンファレンスをおこない、連携しながら、ご本人やご家族の気持ちに寄り添った支援をしています。利用者様が、住み慣れたご自宅で安心して、笑顔で過ごせる事が訪問看護のやりがいです。





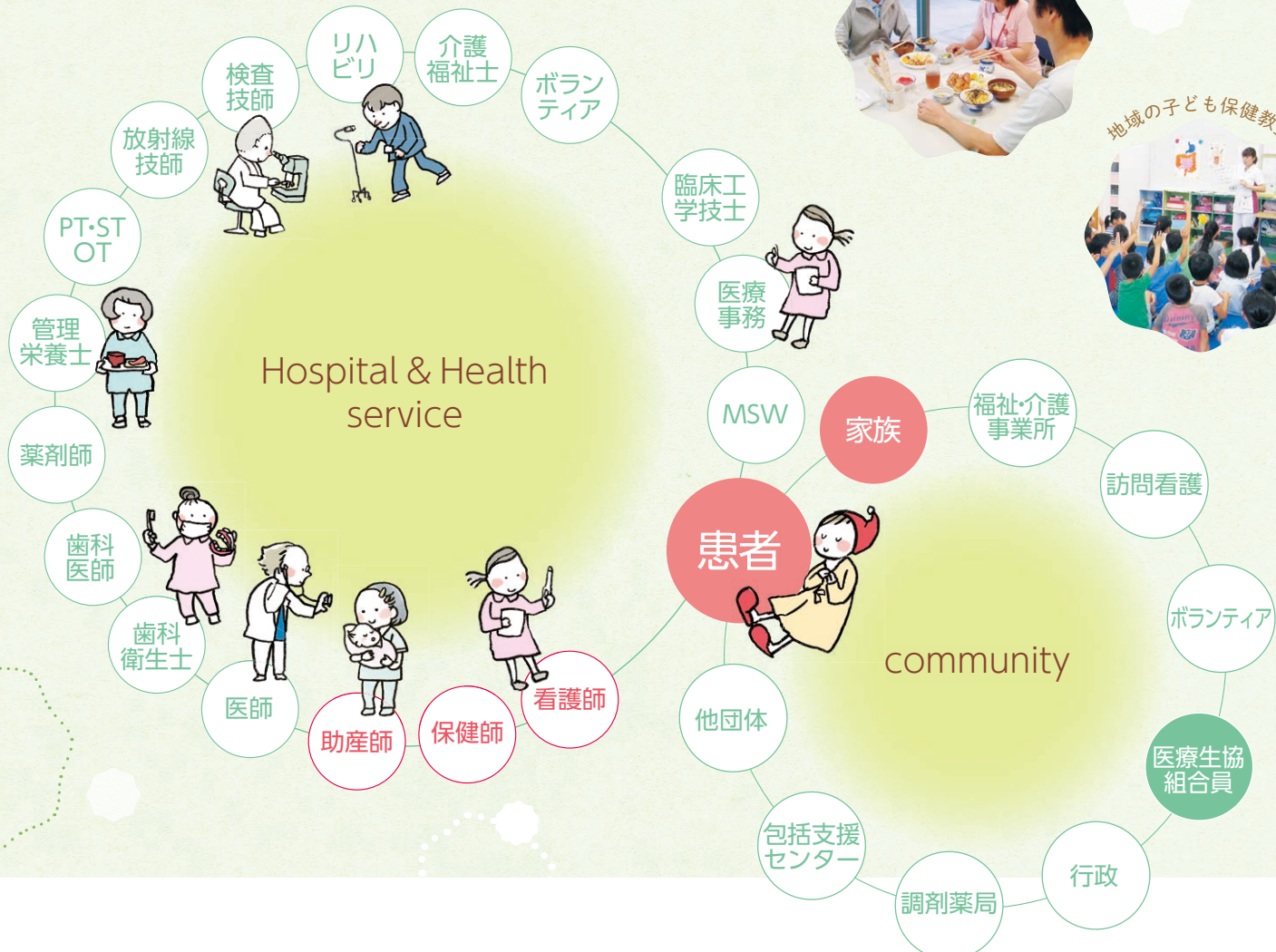
患者を中心としたケアチーム

地域と連携した継続性のあるケアを提供

Care team

私たちのチーム医療は、患者を中心にしながら、院内から地域の活動まで深くかかわります。

私たちは患者・家族の最も身近にいて、病状や心理状況、思いをとらえて、多職種の専門性や地域にある様々な資源をトータルにコーディネートし、サポートする役割を担います。



Care team



「看護力」を極める

個人の尊厳と多様性を尊重した看護



Multifunction

看護師



病院

生きがいを支える力

内科で看護師をしていた時は、治療主体に目が向きがちでしたが、回復期病棟での経験を積み、娘さんの結婚式のためにリハビリを頑張る患者さんを見て、疾患だけでなく生きがいを持ち生きる姿に寄り添うことの大切さを感じています。

老人保健施設

生きることを引き出す力

身体機能の改善だけでなく、ご本人を取り巻く環境への働きかけを通じ、生活意欲や社会参加を広げ、自立支援のための目標に向けたチームケアを多職種協働で実践しています。看護師の倫理観とフィジカルアセスメント力は特に重要です。

訪問看護

くらしを整える力

高齢や認知症に伴う体温調節機能が低下し、暑さや寒さを感じにくくなります。身体機能の低下で口渇を感じられなくなり水分摂取できず、体内水分量が減少し熱中症や低体温症のリスクが高まります。私たちは疾患や健康管理はもちろん、生活環境を整え安心してご自宅で過ごす支援を行っています。

診療所

地域に関わる力

地域で暮らす人々を外来・訪問診療、健診を通してサポートしています。地域の特徴を捉え、地域まるごと健康づくりを住民とともにすすめる楽しさを実感しています。

災害支援看護

熊本地震支援を体験して

余震の中、全・半壊で車中泊の被災者が多く、訪れたビニールハウスでは呼吸困難な在宅酸素療法の方がおられました。私は看護師の五感とスキルを必死で発揮していました。「いのちに寄り添い、患者、利用者、地域を守り、職員も守る」被災者である現地職員と支援者が心一つにした場面に関われたことを決して忘れません。



保健師

ヘルスプロモーションを
推進する看護力



外来患者や入院患者への療養指導、禁煙支援、健康診断後の保健指導、地域住民・企業・学校を対象とした健康講座など、あらゆる場面で、生活と労働の視点、ヘルスプロモーションの視点が求められます。保健師は、人々のヘルスリテラシーを高める活動に取り組んでいます。



助産師

いのちの尊さを伝える看護力



“いのちの授業”や“立ち会い分娩”では、赤ちゃんはどうやって生まれてくるのかということや母親の頑張っている姿を通して、“いのち”の尊さを実感します。家族ケアで産まれる瞬間を大切に、地域でいのちが育まれることを願って、小児虐待対策チームの活動を行い、小児科で出会う子どもたちや婦人科で出会う母親たちとの交流を通していのちの尊さを伝えています。

認定看護師



集中ケア

リスクを見極めて対応する看護力

刻々と変化する状態を見逃さずにキャッチし、重症化を回避してその人らしい生活を1日でも早く取り戻せるよう支援することが私たちの専門性です。“病気も、病気の不安も、病気に関わる社会的背景もすべて受け止める”患者のQOLを保持する予測的ケアと救命救急の質の高いスキルを提供したいと思っています。

訪問看護

療養生活をコーディネートする力

利用者の生活を支え、多職種連携を円滑に進めるコーディネーターです。時には開業医や地域包括支援センター、民生委員と調整したり、私たち組織の強みである地域の組合員に見守り支援を依頼します。また病院での退院調整支援、在宅での多職種とのカンファレンス、住み慣れた地域、家での生活を安心して送ることが出来るよう、ナラティブアプローチで職場教育をし、地域の看護力、介護力の向上が図れるようにしています。

緩和ケア

QOLを考えその人らしさを
最期まで実現する力

80代のすい臓がんの女性。地区の献血委員の社会活動をしていました。できる限り家で過ごし、献血委員の仕事を委譲することを希望されました。QOLを最大限に…亡くなる前日まで在宅で過ごし、役割を全うしました。このような最期を誰でも迎えられるよう地域の看護師はもちろん、介護士も看取りをできる体制を構築しています。

感染管理

医療と介護の
すべての人を守る力

在宅から急性期病棟まで、医療介護関連施設を利用する患者・家族、訪問者や現場で働く全ての人を「感染源から守る」役割を常に意識しています。できる限り現場に足を運び相談しながら、現状にあった対策を検討する現場力が求められています。

下記の認定看護師も活躍中

皮膚・排泄ケア／がん化学療法看護／
がん性疼痛看護／小児救急看護／
慢性呼吸器疾患看護／救急看護



総合看護力 キャリアラダーシステム

総合看護力が身につくよう、独自の認定看護師制度や国内留学制度など、着実にステップアップできる環境を整え、看護師・保健師・助産師の資格を生かしたキャリアアップを支援します。

看護師・保健師

クリニカルケアコース

急性期、救急、がん医療を中心とした知識・技術を身に付け、スペシャリストやジェネラリストを目指します。

コミュニティケアコース

地域包括ケア時代に求められる看護実践能力を身に付けるコースです。病院・診療所・訪問看護ステーションが育成チームを作って研修をすすめます。

●訪問看護からスタートする場合

住み慣れた地域での安心した療養生活のため、退院調整支援など、地域の看護力・介護力の向上を図れるコーディネーターの役割を学びます。また、小児・精神・難病の方々の支援に必要な知識・技術を身に付けます。

助産師

ウィメンズコースの例

母子へのケア提供はもちろんのこと、女性のライフステージに応じた支援を学びます。また、子どもへの虐待や女性への暴力、周産期におけるメンタルヘルスなど、ウィメンズヘルスケア能力も身につけます。



法人看護学会



新人看護師研修

Education



3年間の基礎研修 いのちもくらしもまるごと見る

看護部全体で新人を支える

重層的な指導体制

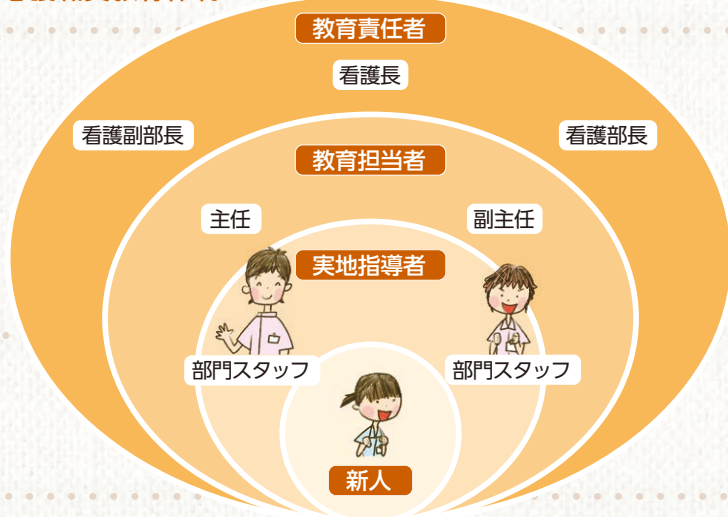
PNSなどによる指導。2～3年目のフィールドワークグループには先輩や、診療所看護長、訪問看護ステーション管理者など地域看護のスペシャリストが丁寧に研修をサポートします。

PNSとは：2人の看護師がパートナーを組んで複数の患者を受け持ち、対等な立場でお互いの特性・能力を活かしながら補完・協力し合い、看護業務を行うこと。

START



新人看護職員教育体制



Education →



到達目標

▶ 基本的な看護実践ができる

方法

▶ 看護技術研修、集中講座、多重課題演習、シミュレーション研修、患者理解のためのケースレポート作成、リフレッシュ研修

クリニカルケアコース



親身なサポートと
仲間とのつながりで
成長

埼玉協同病院 看護師

入社してから日々覚えることが多く戸惑うこともありましたが、しかし、悩んだときには、優しい先輩方から指導や助言を頂き、業務に励むことで、看護師として仕事のやりがいを感じています。集合研修では業務に活かせるような技術や知識をグループワークなどを通して学んでいます。また同期入職者と会える機会となり、良いリフレッシュの時間になっています。

コミュニティケアコース



実践につながる
教育プログラムで
不安がやりがいに変化

ケアセンターきょうどう
看護師

一人の利用者の方とじっくり向き合う看護に魅力を感じ、1年目から訪問看護師として働くことを希望しました。病棟勤務と比較して看護技術習得に対する不安もありましたが、集合研修で基礎的な知識と技術を学べ、実践では、先輩看護師から指導を受け、一緒に振り返りを行うことで安心して看護技術を習得できました。

2~3
年目



到達目標 (2年間で目標達成をめざす)

- ▶ 一般的な看護実践の場面において根拠に基づいた判断を行い、ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する。
- ▶ 民医連や医療生協の理念を日常の看護実践と結びつけて理解する。

方法 ▶ フィールドワーク研修

- ▶ SDHカンファレンス
- ▶ リーダーシップ研修

※SDH (Social Determinants Of Health) とは、健康の社会的決定要因の事です。患者のもつ社会背景の問題に対し、社会的処方につなげるためのカンファレンスがSDHカンファレンスです。

クリニカルケアコース



退院後を見据えた看護とは、暮らしをイメージできたかにあった

埼玉協同病院 保健師

患者の自宅に伺い生活環境や訪問看護の様子を実際に見ることで、業務中での退院調整の大切さを学ぶことができました。病棟業務をしても自宅に帰り家族が介護することも少なくありません。そのため患者や家族が安心して生活できるよう介護説明が必要であり、研修後は、より自宅での生活をイメージし、具体的な説明ができるようになりました。様々な患者と関わる中で先輩の指導を受け、より成長していけるよう頑張りたいと思います。

コミュニティケアコース



患者の背景のなかに看護のヒントがあった

秩父生協病院 看護師

フィールドワーク研修を通して、地域で暮らす患者への支援や診療所における看護師の役割を学ぶことができました。さらにSDH (健康の社会的決定要因) の視点を学び、介入困難な事例には患者・家族の表面的な言動だけではなく、価値観・人生観を形作る背景や生い立ち、家族関係などをきちんとアセスメントしながら支援していく必要があることを学びました。

クリニカルケアコース



患者と地域をつなぐ橋渡しの存在にしなければ

埼玉協同病院 看護師

地域で暮らす方々には、年齢を問わず貧困の問題を抱えた方が多く見受けられることについて知ることができました。医療生協の保健師として、問題を抱えている方々を孤立させないためにも地域とつなぐ“橋渡し”という存在にしなければいけないと思いました。現代社会の動きに関心を持ち患者が抱えている問題はないか幅広い視野から見ていくという気持ちで動くようになりました。

コミュニティケアコース



患者を社会的存在として捉えることが私たちの原点

ケアセンターきょうどう 看護師

研修では地域社会に出て健康を取り巻く環境としての予防活動や対策・制度について広く学びました。患者の事例をWHOのとなえるSDH (健康の社会的要因) の視点で健康問題について考察することで患者を社会的存在として捉えることの大切さを学びました。私たち法人の原点であり、継続される問題意識です。また、3年目の研修後はリーダーとしてチームを動かし、患者の疾患、抱える問題と一緒に立ち向かうことができました。



だれもが安心して働ける サポート体制

プライベートも充実/ 看護職員寮

ワンルームマンションなどを中心に準備。築年数は浅く、清潔で過ごしやすい環境です。通勤しやすい距離でありながら駅にも近く、休日の外出にも便利です。独身者は誰でも利用でき、家賃の負担も少なく設定しています。



間取り図 (一例です)



入職後2年間は家賃の8割が保証されるため自己負担2割です。
(例：7万円の家賃の場合、2年間の自己負担額は14000円です。)

働きやすい職場へ/ 充実の制度

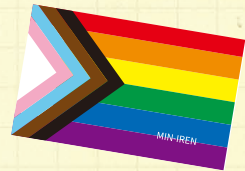
- 夜勤食の提供
職員の食事面をサポート♪



- 充実の助成制度
慶弔給付金、医療費給付金(法人内病院受診)、予防接種費用補助、旅行宿泊補助、文化スポーツ助成金、施設利用クーポン等…
その他まだまだあります♪



- 多様性への配慮
プログレス・プライドフラッグ(右写真)は性や人種などあらゆる多様性を包摂するシンボルです。法人全体で多様性に配慮した病院づくり、職場づくりのため、学習や環境整備を進めています。



子育ても安心/ 院内保育

埼玉協同病院・ふれあい生協病院併設の「つくし保育所」、埼玉西協同病院の「なのはな保育室」で、経験豊富な保育士が子どもの成長にあわせた保育を実施。夜間・休日保育も行っています。熊谷生協病院では、病児保育を行い働くママを応援します。



ママさん
から



本部
看護師

育児と仕事を 職場全体で 支え合う

仕事と育児に忙しい毎日ですが、周囲には子育て中の職員が多く、気軽に相談し、支え合える風土があります。保育のプロが子どもの成長をしっかりサポートしてくれるので、子どもにとっても働く親にとっても安心です。



医療生協さいたま 3つの社会的役割

1
ひとびとの協同と
健康をはぐくむ。

2
「明るいまちづくり」
をすすめる。

3
ひらかれた保健医療
をリードする。



健康づくり

医療生協の組合員活動は、健康づくりを中心とした自主的な活動が特長です。それぞれが地域に密着して、健康づくり、まちづくりに取り組んでいます。

楽しくみんなで 健康づくり

いつまでも健康で長生きしたい。そんな願いをもとに多彩な健康づくりの場があります。楽しく学びながら健康づくりに取り組むと、笑顔の輪が広がっていきます。

笑いケア講座



祖伝交流集会



平和・環境を守る

明るい未来を 子どもたちに

平和や人権、環境保護など、未来の地球のために、様々な活動をみんなで学びながら実践しています。

環境作業



まちづくり

明るく、暮らしやすい まちづくり

人と人との結びつきで、支えあいを広げることが私たちのまちづくり。子どもから高齢者まで、どの世代もできることを、カタチにします。

つながりマップづくり



79世代交流コミュニティ



医療生協さいたま

多彩な看護のフィールド

※法人内には看護師配属のない、歯科診療所・居宅介護事業所もあります



- 1 埼玉協同病院 川口市
- 2 ふれあい生協病院 川口市
- 3 埼玉西協同病院 所沢市
- 4 熊谷生協病院 熊谷市
- 5 秩父生協病院 秩父市
- 6 さいわい診療所 川口市
- 7 川口診療所 川口市
- 8 浦和民主診療所 さいたま市
- 9 おおみや診療所 さいたま市
- 10 かすかべ生協診療所 春日部市
- 11 大井協同診療所 ふじみ野市
- 12 所沢診療所 所沢市
- 13 行田協立診療所 行田市
- 14 老人保健施設みめま 川口市
- 15 老人保健施設さんとめ 所沢市
- 16 介護付き有料老人ホーム桂の樹 所沢市
- 17 さんとめホーム 所沢市

NET WORK

- 18 ケアステーションうらしん訪問看護 さいたま市
- 19 ケアセンターきょうどう訪問看護 川口市
- 20 ケアセンターとこしん訪問看護 所沢市
- 21 ケアセンターさきたま訪問看護 行田市
- 22 熊谷生協ケアセンター訪問看護 熊谷市
- 23 生協ちちぶケアステーション訪問看護 秩父市
- 24 ケアセンターかがやき訪問看護 川口市
- 25 ケアステーションかしの木訪問看護 草加市
- 26 ケアセンターかもがわ訪問看護 上尾市
- 27 ケアセンターひだまり訪問看護 春日部市
- 28 ケアセンターはんのう訪問看護 飯能市
- 29 おおみやケアセンター訪問看護 さいたま市
- 30 深谷生協訪問看護 深谷市
- 31 ふじみ野ケアセンター訪問看護 ふじみ野市

